

AI時代の高速な開発を支える  
ガードレールとしての自動テスト

JaSST'25 Kansai テクノロジーセッション  
Takuya Suemura @ Autify, Inc.



## 今日話すこと

- アジャイル開発やAIコーディングエージェントの台頭で  
開発速度は非常に早くなっている
- フェーズゲート型のテストからガードレールとしてのテストに  
切り替えていく必要がある
- そのために自動テストが持つべき性質は？

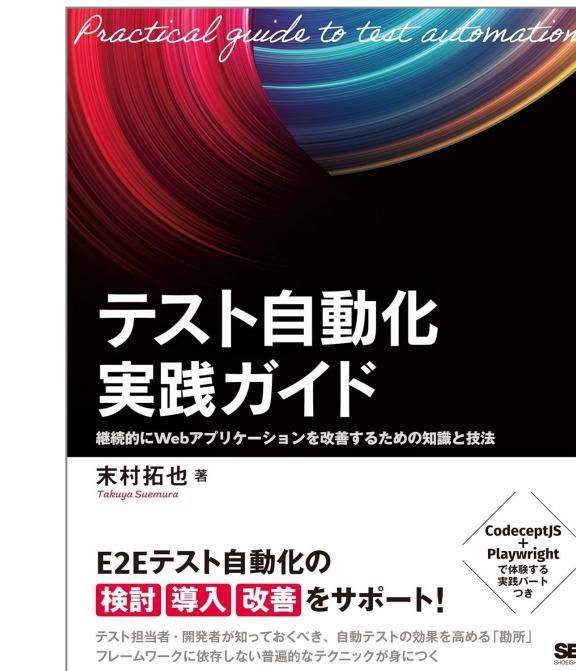


# Takuya Suemura

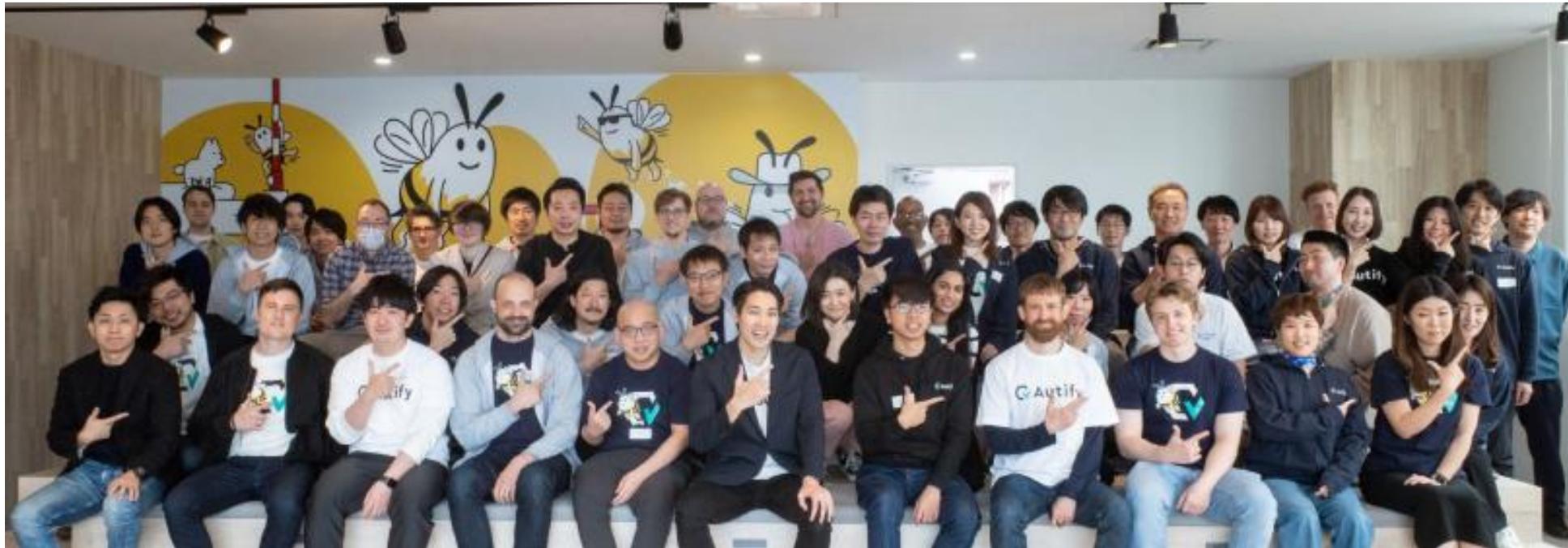
Quality Evangelist @ Autify, Inc. (2024~)  
Senior TSE , QA Manager @ Autify, Inc. (2019~)  
Logistics / QA Engineer @ OPENLOGI (2017~)



@tsueemura



# 会社概要・沿革



## US本社・日本支社

本社

日本支社

設立

事業内容

従業員数

2016年9月

2019年2月

2019年7月

2019年10月

2020年4月

2021年10月

2024年3月

2024年6月

米国カリフォルニア州サンフランシスコ

東京都中央区東日本橋2丁目22-1 クロスシー東日本橋ビル6階

2016年9月2日

AIによるソフトウェアテスト自動化・効率化ソリューションの開発・販売、品質保証サービスの提供

104名

米国サンフランシスコにて創業

Alchemist Acceleratorを卒業

シードラウンド\$2.5Mの資金調達

Autify 正式ローンチ

Autify 累計導入組織数が100を突破

WiL, Uncorrelated, Jonathan Seigel などから

シリーズAラウンド\$10Mの資金調達

Autify for Mobile 正式ローンチ

Globis Capital Partners, LG Technology Ventures などから

\$13Mの資金調達

リブランディングを発表：「Autify NoCode」「Autify Genesis」「Autify Pro Service」で包括的な開発・テスト支援へ

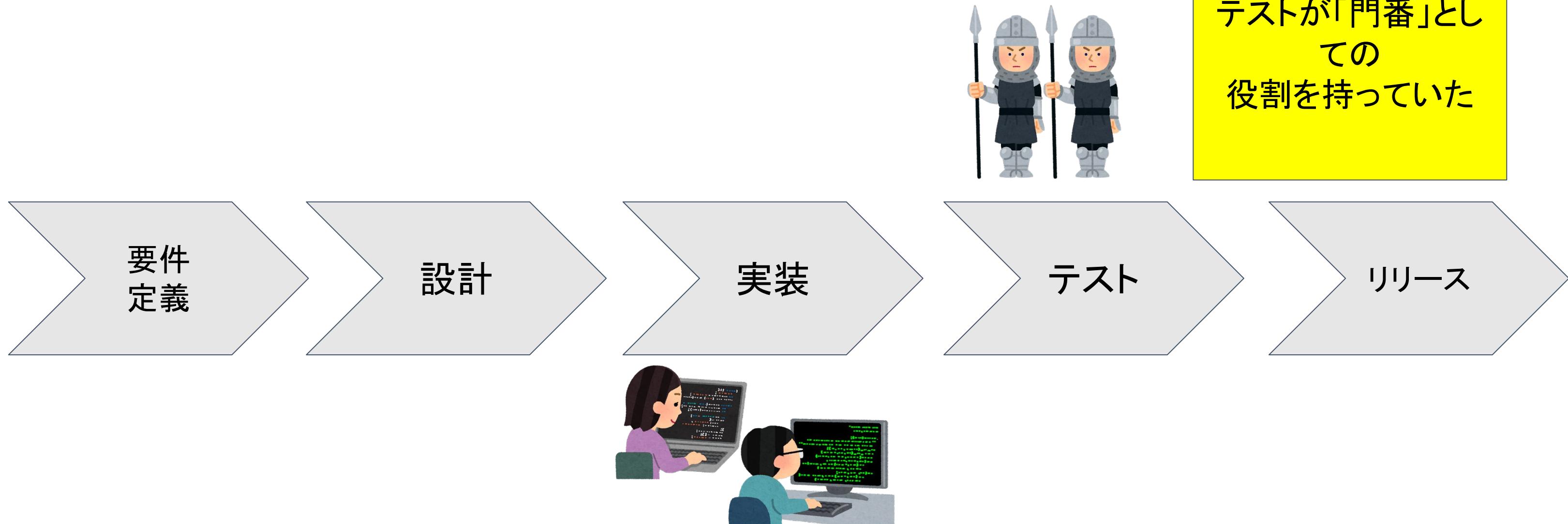


※創業から2018年10月までの事業模索期からAutifyにたどり着くまでのストーリー

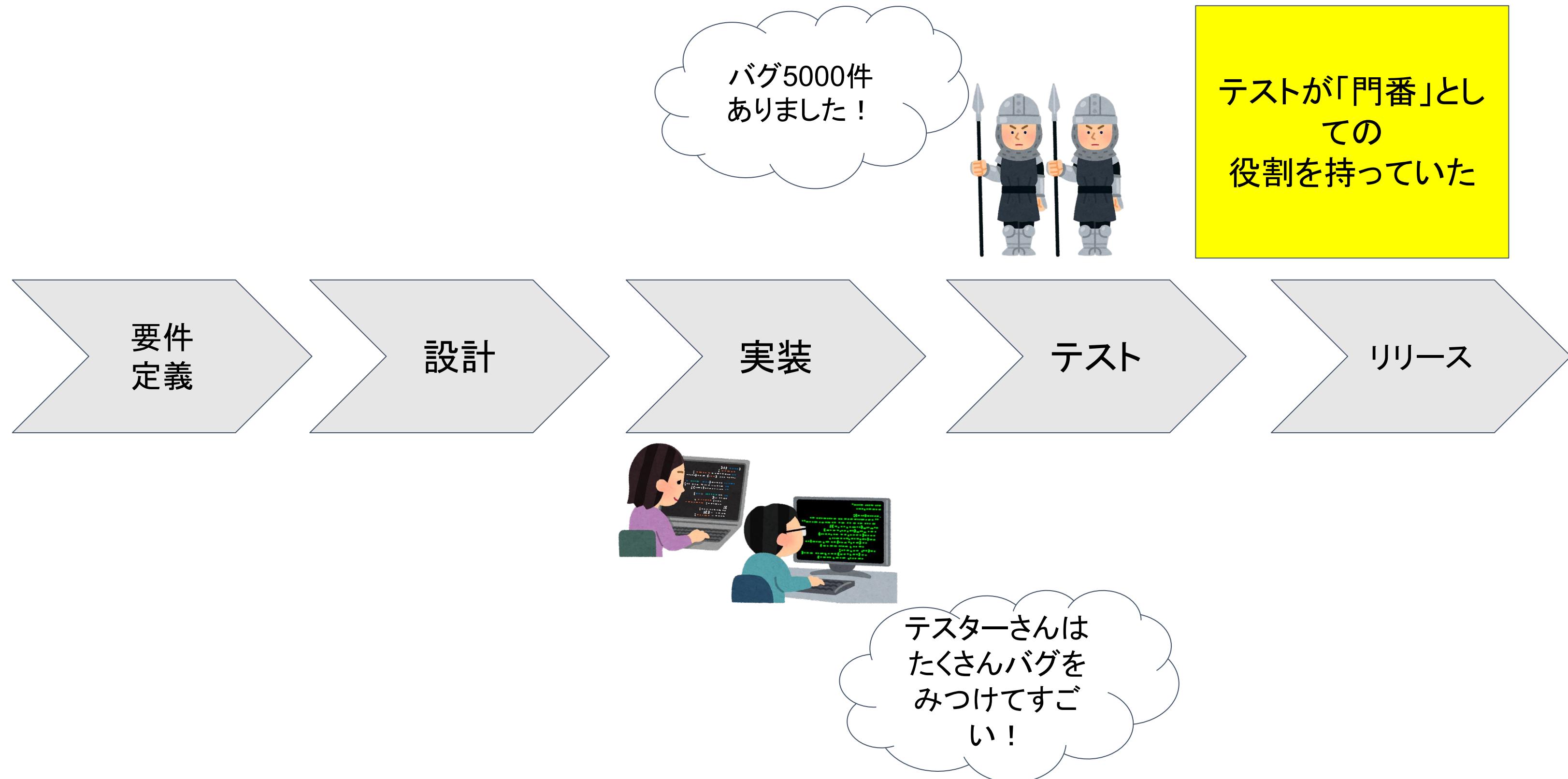
「顧客のBurning needsを解決する」( <https://chikathreesix.com/burning-needs> )

怖い話

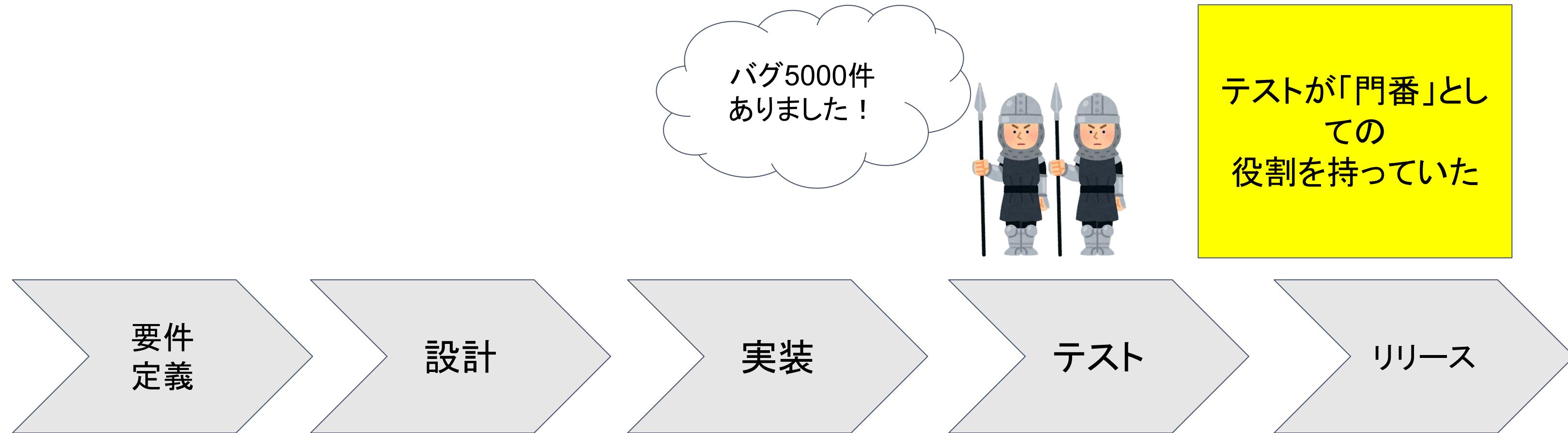
# ある会社の話



# ある会社の話



# ある会社の話



開発者は  
テスターの  
「正式な」テストに依存している



テスターさんは  
たくさんバグを  
みつけてすごい！

一見ちゃんとしたプロセスに見えるが

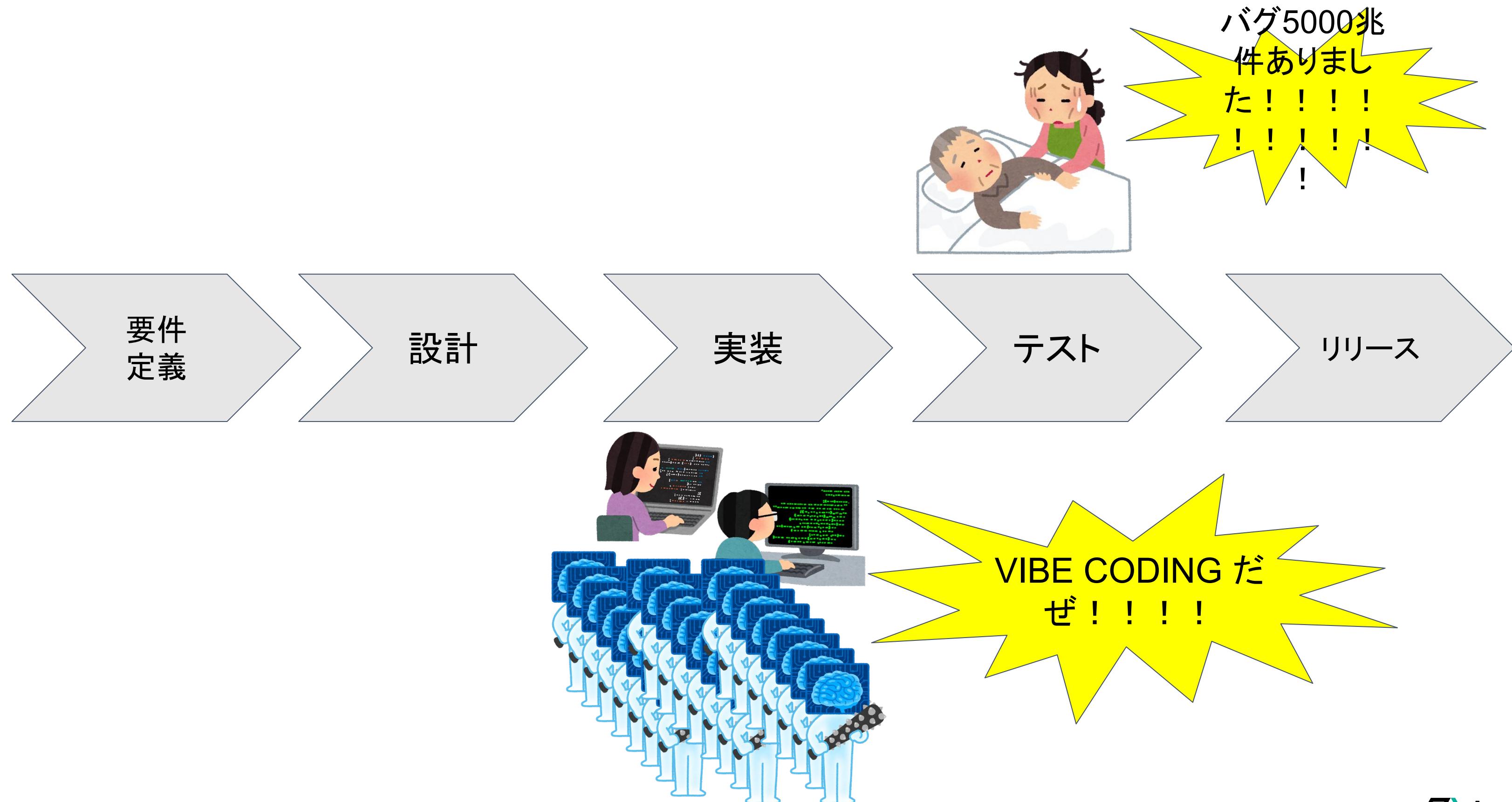
- 実装時点で守られるべき品質基準に達していない
- ちゃんと動くものをテストフェーズに回さない悪習が出来ている

# ある会社の話



- 一見ちゃんとしたプロセスに見えるが
- 実装時点で守られるべき品質基準に達していない
- ちゃんと動くものをテストフェーズに回さない悪習が出来ている

# この状態で生成 AIが来るとどうなるか



AIの介護で疲れないために



## ガードレール

- 安心して開発を進めるための「ここから出ちゃダメよ」ライン
- プラットフォームエンジニアリングで良く使われる表現の一つ
  - ガイドライン: 推奨されるベストプラクティス
  - ガードレール: 自動化された制約
  - ゴールデンパス: 最適な開発パス
- プラットフォームエンジニアリングではセキュリティがガードレールの一つとして挙げられる



## 自動テストもガードレールになりうる

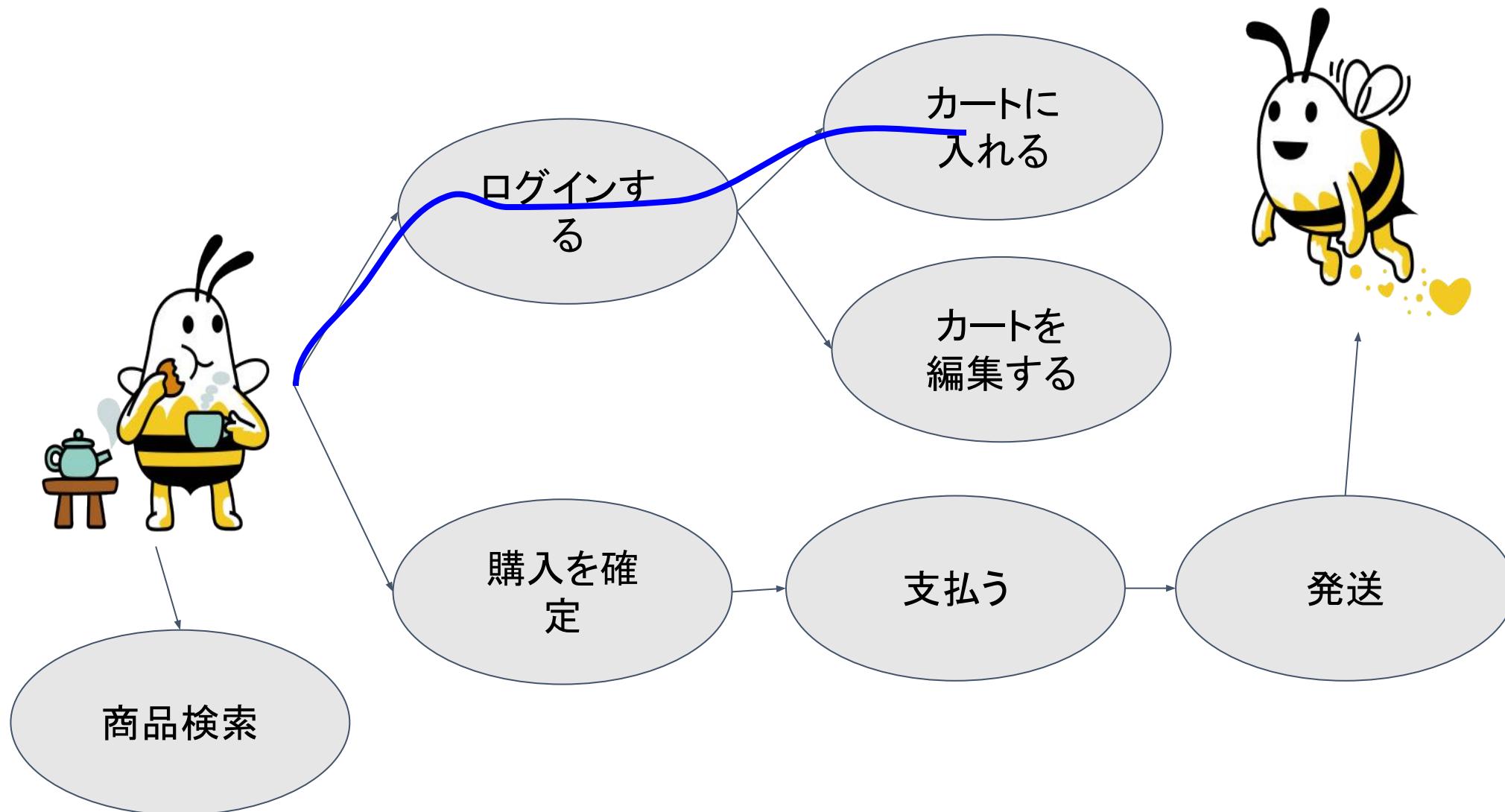
コンポーネントやシステムの外的な振る舞い(=期待)を自動化したもの

=自動テスト はそのままガードレールたりえる

セキュリティではなく機能性やユーザージャーニーのガードレール

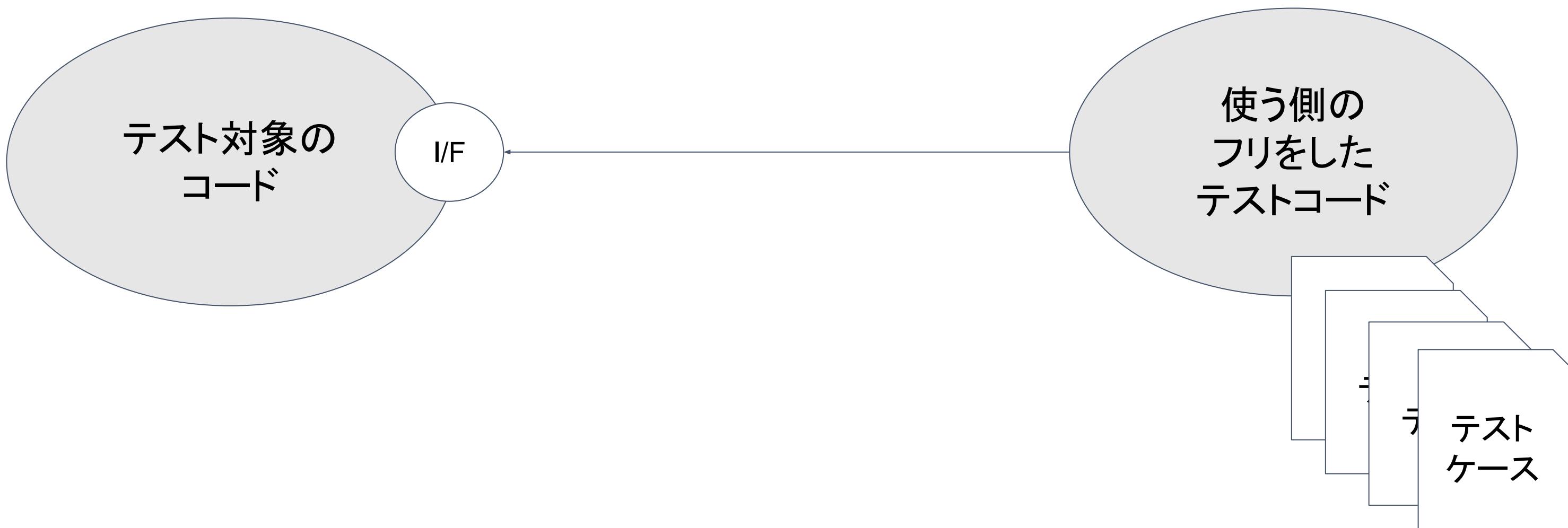
# E2Eテストはユーザーとの約束事

アプリケーションのコードでユースケースは表現できないが、  
テストコードでは表現できる



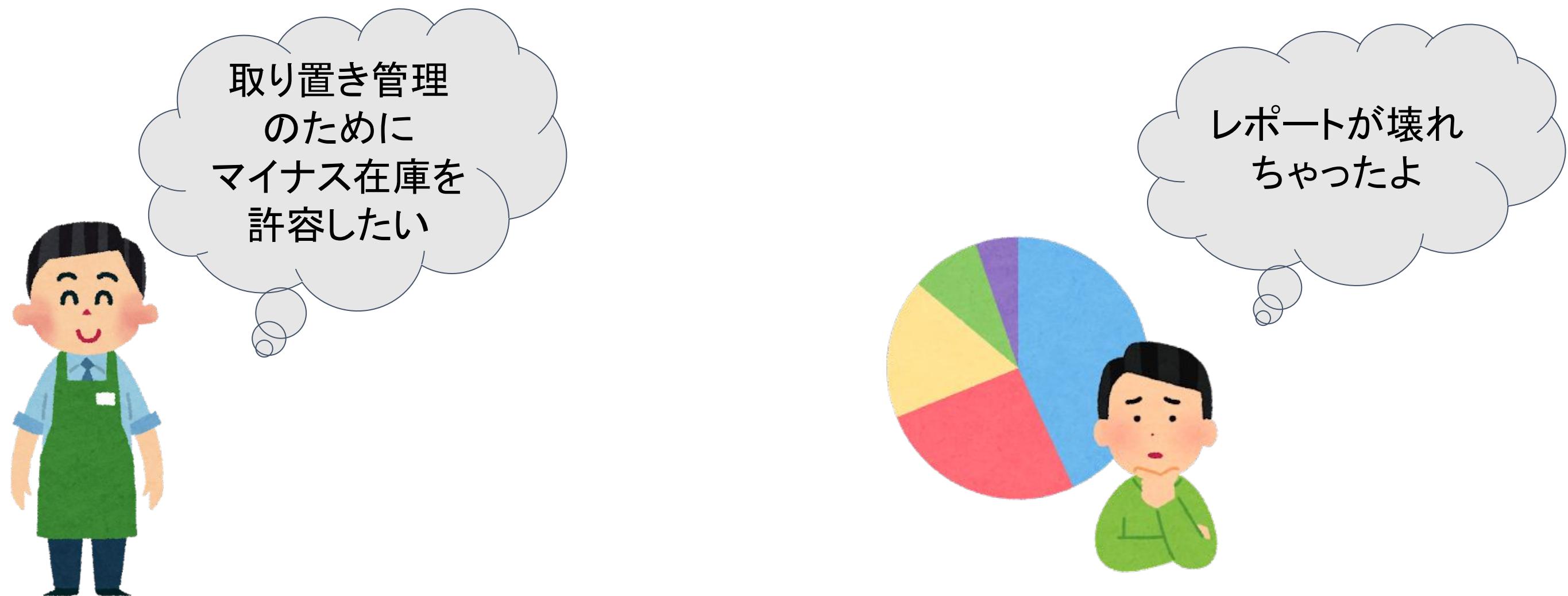
# テストコードはテスト対象に依存する

依存関係にあるコードなので  
テスト対象のふるまいが変わるとテストコードは動かなくなる



# こういうケースを開発中に見つけられると嬉しい

Aさんの要件変更リクエストが  
Bさんのユースケースを壊すことをキャッチしたい



# テストをガードレールとして使うために

開発の早い段階からテストを回せるようにする

- CI/CDパイプラインでの実行
- ローカル環境での実行

SaaSツールなどで実行回数課金になっている場合は注意

- 高速でないとストレスがたまる
- 決定性(安定性)を重視

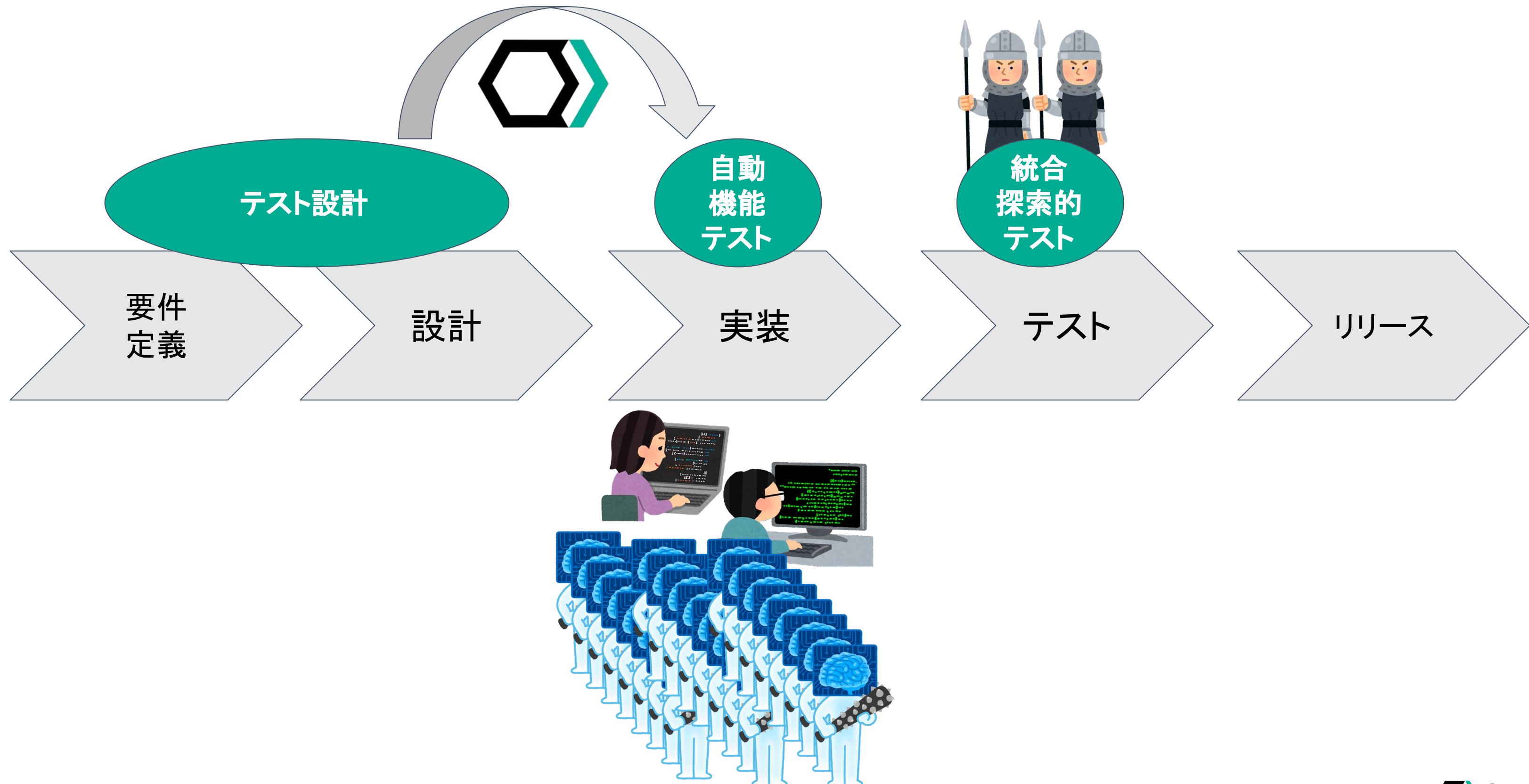
生成AIを用いる場合も  
ここにバランスを取る



# チームで最大の効果を出すために

ソフトウェアへの期待をテストに落とし込み  
ガードレールの中で最速で走れるようにしよう

# AIが作ったもののテストは AIにやらせるという方法も



# 要件&テストの属人化解消により 一気通貫で業務全体をAIで仕組み化、開発プロセスを加速



アジャイルチームや複数システムの  
繰り返しテスト業務を一気通貫で自動化

# 自然言語によるシナリオ自動作成

テスト設計

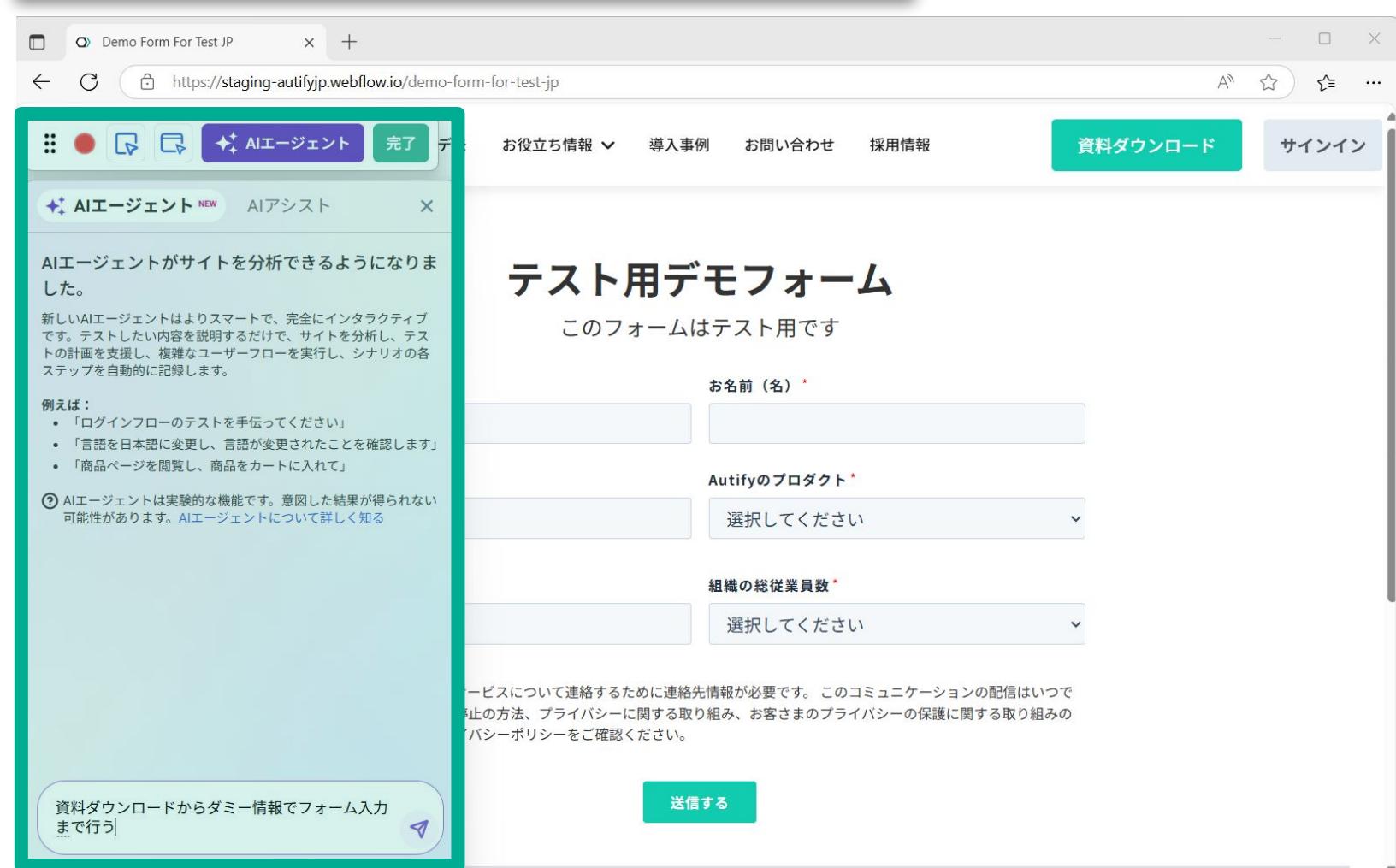
テスト実装

テスト実行

改善

自然言語による検証動作の入力によりテストシナリオを自動生成  
シナリオ作成時間を劇的に短縮・安定したテストシナリオを実現

①AIエージェントをクリック



AIエージェントがサイトを分析できるようになりました。

新しいAIエージェントはよりスマートで、完全にインタラクティブです。テストしたい内容を説明するだけで、サイトを分析し、テストの計画を支援し、複雑なユーザーフローを実行し、シナリオの各ステップを自動的に記録します。

例えば：

- 「ログインフローのテストを手伝ってください」
- 「言語を日本語に変更し、言語が変更されたことを確認します」
- 「商品ページを開発し、商品をカートに入れて」

② AIエージェントは実験的な機能です。意図した結果が得られない可能性があります。AIエージェントについて詳しく知る

お役立ち情報 ▾ 導入事例 お問い合わせ 採用情報 資料ダウンロード サインイン 保存

## テスト用デモフォーム

このフォームはテスト用です

お名前（姓）\*

Autifyのプロダクト\*

組織の総従業員数\*

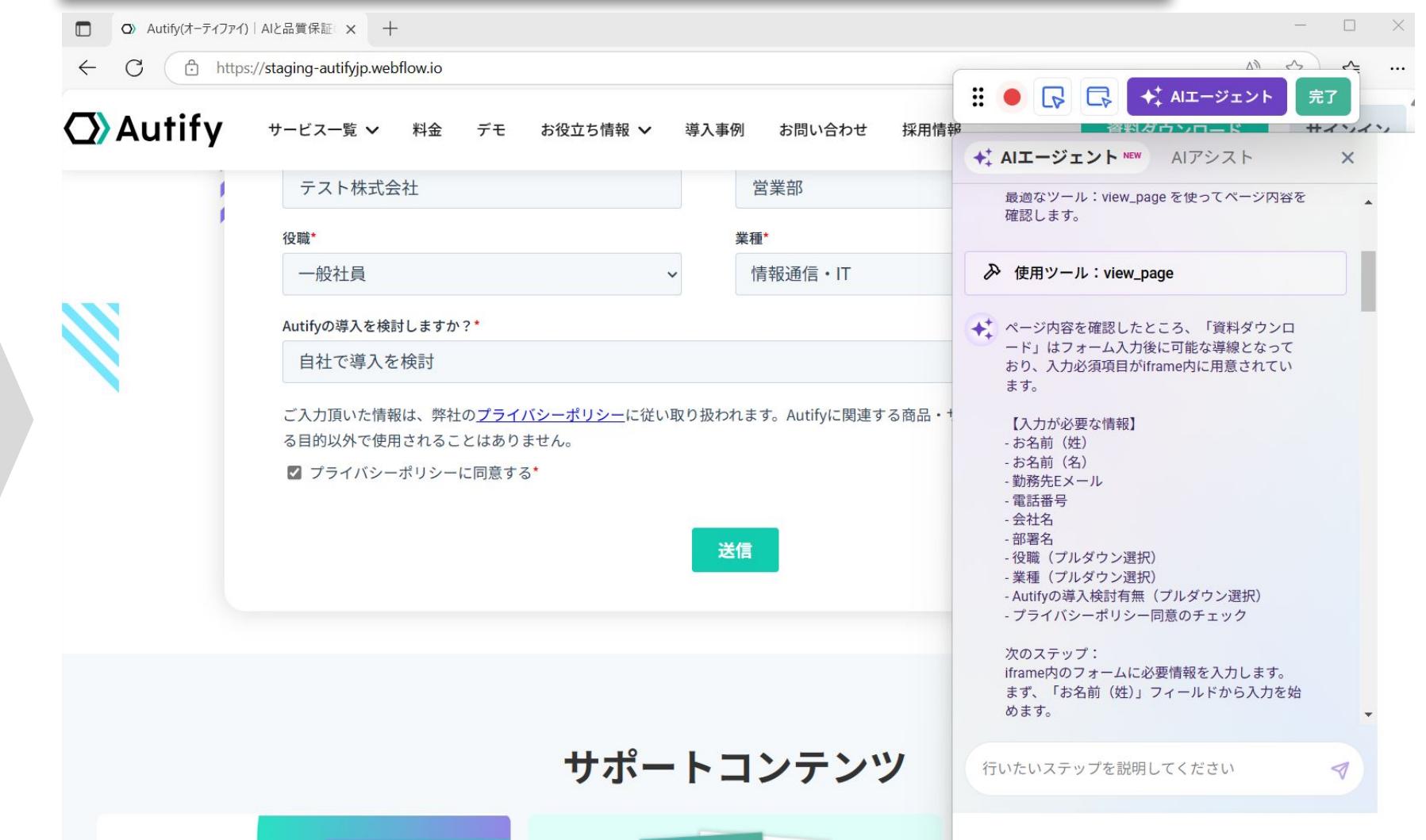
サービスについて連絡するため連絡先情報が必要です。このコミュニケーションの配信はいつで停止の方法、プライバシーに関する取り組み、お客様のプライバシーの保護に関する取り組みのプライバシーポリシーをご確認ください。

資料ダウンロードからダミー情報でフォーム入力まで行う

送信する

②入力スペースに操作内容を記載

③AIエージェントが操作（ステップ）を実行



Autify サービス一覧 料金 デモ お役立ち情報 ▾ 導入事例 お問い合わせ 採用情報

テスト株式会社 営業部

役職\* 一般社員 業種\* 情報通信・IT

Autifyの導入を検討しますか？\*

自社で導入を検討

ご入力頂いた情報は、弊社のプライバシーポリシーに従い取り扱われます。Autifyに関連する商品・サービスについて連絡するため連絡先情報が必要です。このコミュニケーションの配信はいつで停止の方法、プライバシーに関する取り組み、お客様のプライバシーの保護に関する取り組みのプライバシーポリシーをご確認ください。

プライバシーポリシーに同意する\*

送信

サポートコンテンツ

AIエージェント NEW AIアシスト

最適なツール : view\_page を使ってページ内容を確認します。

使用ツール : view\_page

ページ内容を確認したところ、「資料ダウンロード」はフォーム入力後に可能な導線となっており、入力必須項目がiframe内に用意されています。

【入力が必要な情報】

- お名前（姓）
- お名前（名）
- 勤務先Eメール
- 電話番号
- 会社名
- 部署名
- 役職（プルダウン選択）
- 業種（プルダウン選択）
- Autifyの導入検討有無（プルダウン選択）
- プライバシーポリシー同意のチェック

次のステップ：

iframe内のフォームに必要情報を入力します。まず、「お名前（姓）」フィールドから入力を始めます。

行いたいステップを説明してください

Autify



技術の力で世界中の人々の創造性を高める

